

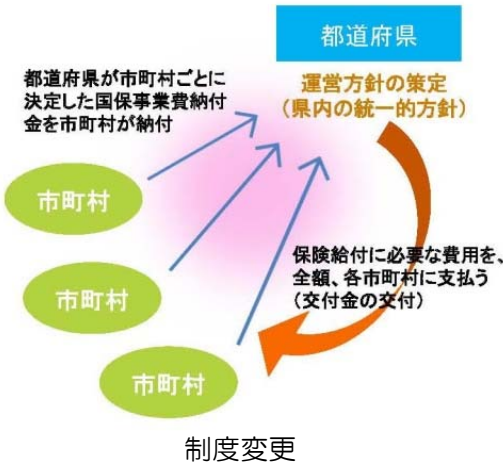
乙津豊彦市政報告

いま福生市では

国民健康保険制度改革

この10年で70歳以上の高齢者数は1.3倍に、国民医療費は1.3倍になりました。そこで「国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年4月から、これまでの市町村に加え、都道府県も国民健康保険制度を担うことになる」というのが、国民健康保険制度改革です。

第3回の試算結果によれば、福生市における保険税額は、モデル世帯（夫婦子ども2人）で現行246,600円が352,553円と約1.4倍になります。本年11月には



は第1回納付金・標準保険税率が公表される予定です。

地酒で乾杯条例

福生市では、3月28日に東京都で初めて制定された乾杯条例「福生市地酒で乾杯を推進する条例」の普及および気運醸成のため、市内の酒蔵「田村酒造場」と「石川酒造」の協力のもと、オリジナルグラス、ポスター、テーブル Tent を市内飲食店や町会等を中心に配布します。これらのグッズは石川酒造(株)の広告デザイン担当の石川雅美さんが作成したものです。(市のプレスリリースより)

東京都には9つの蔵元があり、そのうちの5つが西多摩にあり、福生市で日本酒の伝統を守り蔵元を応援する意味で提案した(提案者：乙津豊彦) 条例です。



◆天開グラス



◆ポスター



◆テーブル Tent

今年、忘年会や新年会などの席では地酒で乾杯して盛り上げて下さい。

タブレット端末を貸与

教育委員会では、個別学習用ドリルソフト(やるkey)を搭載したタブレット端末(iPad)を市立小学校3年生全員に貸与し、授業や家庭での学習に活用することで基礎学力の定着や学力の向上に取り組んでいます。

平成27年度から学力向上を目標に、慶應義塾大学、凸版印刷(株)、福生市教育委員会の3者が産官学のチームを組み、教育経済学の視点に基づく施策展開の有効性について、特に家庭学習におけるタブレットを用いた学習が学力に与える影響の効果検証を実施した結果導入に至ったものです。

3年生のみになったのは財源と、算数・数学の基礎基本のほとんどが小学校4年生までに集約されていると考え、算数のつまづきがその後の算数学習の習得を困難にするため、小学校3年生の算数でタブレットの



タブレット端末を使った学習

の算数でタブレットの

活用が効果的である、との学術理論に基づいたものです。

五日市街道砂川街道踏切への信号機設置

平成23年第1回定例会において米軍横田飛行場への引込線の踏切に信号機を設置して一時停止しなくてもよくなるよう提案しましたが、10月5日、日米合同委員会でも合意されました。この後閣議決定を経て工事に着手できるとのことです。

東京都、JR貨物、在日米軍、公安委員会の合意以降、市長には精力的に関係各機関に働きかけていただきました。感謝します。



こんな感じ? (ネットより)

(P4に続きます)